

平成29年度北海道地区7国立大学法人工事入札監視委員会定例会議議事要旨

開催日及び場所	平成29年11月16日(木) 北海道大学事務局2号館 大会議室	
委員	委員長 岸浪 建史 (学識経験者) 委員 石川 信行 (公認会計士) 委員 菊地 均 (名誉教授) 委員 佐藤 昭彦 (弁護士)	
審議対象期間	平成28年10月1日～平成29年9月30日	
抽出案件(合計)	5件	(備考) 今年度の委員長は審議前に互選により岸浪氏に決定した。
工事(小計)	4件	審議を開始するに当たり、岸浪委員より今年度の審議対象案件の抽出の考え方が説明された。 抽出案件の個別審議については、各発注機関の担当者から、説明と質問等への回答がなされた。 次回開催時の案件抽出は、佐藤委員が指名された。
一般競争 (調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (政府調達協定対象工事を除く)	3件	
通常指名競争	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	1件	
委員からの意見・質問、それに対する意見等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

質 問	回 答
<p>1. 審議対象件数及び契約金額一覧について (基幹校より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p>2. 点検事項該当案件一覧表について (基幹校より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p>3. 抽出案件の考え方について (岸浪委員長より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (1) 競争入札において応札者が1者のみの工事 1. 【北海道大学】情報基盤センター北館改修電気設備工事</p> <p>・「高圧電気設備の新設若しくは改修工事を施工した実績を有すること」という競争参加資格の条件を満たす業者はどのくらいあるか。</p> <p>・もう少し参加業者数が増えるよう事務局で何か手立てをしていただきたい。</p> <p>・公告の日数について11日間とあるが、少し短く感じられる。これを長くすることは可能か。</p> <p>・1者応札であったことについて、業者が興味を持つような案件ではなかったと考えられるのか、あるいは予定価格を算定する上で何か配慮が必要であったのか、わかる範囲で教えていただきたい。</p> <p>・結果的には1者応札で競争の原理が働かなかったが、ヒアリングを実施するなど、原因を分析してほしい。</p>	<p>・Bクラスで条件を満たす業者は、札幌だと10社ほどある。Cクラスでは数社が条件を満たす。</p> <p>・文部科学省HP、業界紙等も活用しているが、広報については検討し、もう少し幅広く皆さんに入札公告を見ていただけるよう手続きを進めていきたい。</p> <p>・工期の兼ね合いで短くなってしまうのが現状である。より計画的に発注を行うことで、公告期間を長めに取ることは十分可能である。</p> <p>・工事内容について、作業を全学停電日に合わせて実施するよう指定していたので、工事が大変であると感じ、応札しなかった業者が多かったとみている。また、積算については国交省の要領に基づき実施しているため、妥当だと判断している。</p>
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (2) 競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の工事 2. 【室蘭工業大学】保健管理センター改修機械設備工事</p> <p>・他の応札した2社について、直接工事費の積算価額は予定価格とどれほどの差があったか。また、共通費についても教えていただきたい。</p> <p>・落札者の共通費が予定価格より104万円低い理由は聞いているか。</p> <p>・共通費はある程度一定の割合で算定されると思われるが、それなのに104万円も低いのは何か特別な理由があるのか。</p> <p>・株式会社ゴウダは登別だが、あとの2社の所在地はどこか。</p> <p>・三栄設備株式会社は大きく予定価格をオーバーしているが、何か特別な理由があったのか。</p> <p>・予定価格の積算に当たり2社以上から参考見積もりを徴収したとあるが、2社はどこの業者か。</p>	<p>・2番目、3番目の業者については分析していない。</p> <p>・積算資料の算定を使用していると聞いている。</p> <p>・本工事を落札するために、共通費を削ったのではないかと思われる。</p> <p>・2社とも地元である。</p> <p>・2番目、3番目の業者については分析していない。</p> <p>・機械設備メーカーである。</p>

質 問	回 答
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (5) 随意契約のうち少額随契でない工事 3. 【旭川医科大学】中央診療棟(A)搬送設備管理サーバ取替工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理サーバーのメーカーはどこか。 ・過去もIHIで施工している経緯はあるか。 ・今後もサーバー取替はあるか。 ・国民の税金を使用している意味では、本来は何らかの形で適正な価格かどうかフィードバックできるようにチェックしていただきたい。 ・辞退した業者が施工した場合の試算等は行ったか。 ・IHIの見積書の中でハードウェア530万円、プログラムの改修490万円とあるが、プログラムの改修の具体的な内容は何か。 ・今回審議対象ではない、IHIとの随意契約による工事案件についても落札率が高い。何か理由はあるのか。 ・CPUソフト内容の検証について、どのように行うか契約上明記されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社IHIである。 ・平成14年度に設置、平成22年にサーバーを取替えており今回は2回目の取替工事となる。 ・メーカー保守期限が5年間で5年毎の取替となる。 ・試算はしていない。 ・上位システムからの手術情報受信処理、手術用滅菌機材の搬送、返却、保管等の搬送関係及び在庫・欠品・期限切れ滅菌機材等の機材管理プログラムを改修した。 ・2件ともIHIの見積書を基に予定価格を算出しているため、価格差が小さくなったと思われる。 ・本システムを運用する職員に対し、機能・操作の動作説明を行うよう図面に明記している。
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (1, 4) 競争入札において応札者が1者のみで、入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の工事 4. 【北海道大学】事務局本館改修機械設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一敷地内での工事というのは具体的に何を示すか。 ・事務局本館新営工事の入札時期はいつ頃か。 ・予定価格自体が本当にこれでよかったのか、検討の余地があったのではないか。 ・3社見積もりをして調整した価格は小売価格ではなく、暖房機器の仕入価格として積算したということか。 ・公告期間は11日間とあるが、大学施設関係の公告期間としては一般的なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事建物と渡り廊下で繋がる事務局本館の西側部分の新営工事である。 ・平成28年3月17日である。 ・3社から見積もりを徴収し、比較・査定等を行い算出した。また、工事については支障なく行うことができると判断し契約をした。 ・本学ではメーカーからの定価見積もりを徴収し、決められた査定率を掛けたものを予定価格として採用している。 ・一般的な公告期間ではあるが、4-1の案件とあわせて検討させていただく。
<p>5. 設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (1) 競争入札及びプロポーザル方式において応札(応募)者が1者のみの業務 1. 【帯広畜産大学】基幹整備(電気設備)実施設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加資格に「平成13年度以降に完成・引き渡し完了した基幹整備(電気設備)設計業務の実績を有すること」という要件を足した途端に応募業者が少なくなるということだが、それほど応募可能な業者は限られるのか。 ・参加資格を平成13年度以前の実績に設定しても、応募業者数は変わらないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般住宅の設計業務の経験のみ有するという業者もある。期間内に設計業務が完了しないと工事の入札にも影響が出るため、やはりなんらかの履行実績を謳う必要がある。 ・以前は過去10年度以内の実績に設定していたこともあるが、参加資格の条件を拡大した結果、近年は設計でも工事でも過去15年度以内の実績に設定している。